

第1学年*組 保健体育科学習指導案

指導者 T1 石川 勇
指導者 T2 志田 茂美

1 単元名 球技 (ゴール型 サッカー)

2 単元の目標

- (1) サッカーの学習に意欲的に取り組み、作戦などの話し合いに積極的に参加しようとしている。
(運動への関心・意欲・態度)
- (2) 自己のチームや相手のチームの特徴を踏まえた戦い方をしたり、グループの仲間に対して技術的な課題について指摘したりできる。
(運動についての思考・判断)
- (3) ボールを持たない動きを意識してスペースを作ろうとするとともに、スペースを活用してパスやドリブルで突破することができる。
(運動の技能)
- (4) サッカーの技術の名称や戦術について具体例を挙げて説明することができる。(運動についての知識・理解)

3 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領解説保健体育編の体育分野の第1学年及び第2学年の内容E (1)「ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開すること。」と述べられている。また、小学校でのゴール型の単元は、簡易化されたゲームでルールを工夫して攻防をすることをねらいとして学習していることから、本単元では、さらにドリルゲームやタスクゲーム、ミニコートのゲームを発展した内容として、技能の向上や運動有能感を高めることを学習のねらいとする。

本単元は、上記のような活動を通して、第3学年のゴール型単元のねらいである、「パスの後の次のパスを受ける動きやボールとゴールの間でのディフェンスのボールを持たない時の動き」につなげることでできる内容である。

(2) 生徒観

実態調査 (1年*組 男子*名 女子*名 計*名 平成*年*月*日実施)

1 サッカーの試合の中で、フリーの味方に上手にパスをすることができますか?
はい *人 いいえ *人 わからない *人
2 サッカーの試合の中で、上手にドリブルをすることができますか?
はい *人 いいえ *人 わからない *人
3 サッカーに必要な技能は何だと思いますか? (抜粋で掲載)
・蹴る ・走る ・DF ・GK ・チームプレー ・ドリブル ・パス ・シュート ・トラップ ・わからない (以上までの回答が複数回答あり) ・アプローチ ・周りを観て判断すること ・インカセプト ・オーバーラップ ・サイドチェンジ ・相手を観てパス

実態調査の結果から、パスやドリブルが上手にできない生徒が多いことがわかった。このクラスには、サッカーチームやクラブに所属している生徒が*人おり、その生徒以外は小学校で獲得すべき技能を持ちあわせていないことがわかる。また、わからないと答える生徒も多く、サッカーの試合の経験が少ない、または、経験が無い生徒が多数おり、技能的には低いことがわかった。

サッカーに必要な技能についても、ドリブル、パス、シュートなどのボールを持っている時の動きについての記入が多く、オーバーラップやインカセプトなどボールを持たない動きについては、サッカーチーム所属の生徒の記述であるので、サッカー経験の有無が知識としての差につながっているものと推測できる。

(3) 指導観

指導に当たっては、実態調査でわかったサッカーの経験に差があり、特にゲームの経験が少ない生徒が多いことを意識して指導していく。サッカーの技能の向上を図るためにあたっては、サッカーが集団的技能を必要とするという特性から、タスクゲームやミニゲームを多く取り入れ、さらには、場やルールを工夫することで技能の向上を図りたい。

また、言語活動の充実として、作戦板を活用してグループでの戦い方を話し合ったり、学習資料を活用したりして、グループでの活動を意図的に作ることにより、意欲や技能の向上に役立てたい。作戦板を活用することにより、ボールを持たない人の動き方をボード上で確認することで、動き方

が理解しやすく、「空間に走り込む動き」の技能向上につなげたい。

また、TT指導を行い、T1は全体を把握しながら指示や観察、指導をしていく、T2は技能面などで配慮を要する生徒を支援していくことでTTによる指導のメリットを生かしていきたい。

4 本校研究テーマとの関連

本单元では、本校保健体育科の研究主題である「自分の考えを相手に伝えることができ、運動に親しみ、心身の健康を図ることができる生徒の育成」を受けて、作戦板を活用した話し合い活動を行う。また、学習カードにもグループや仲間の良い点や改善点を記入できる欄を設け、考えを伝え合うことの手立てとしていく。さらには、話し合い活動を生かした上で、生徒が意欲的に取り組めるゲーム形式の活動を通して、運動に親しむ態度を育成させたい。

5 単元指導計画及び評価規準（7時間扱い）

(1) 指導と評価の計画（本時は4時間目）

段階	主なねらい・学習活動	評価計画			
		関	思	技	知
はじめ	○ 試しのゲームを行い、自分やチームの課題を知ろう。	1 ↑ ① (観察)			① (力)
なか①	○ スペースを活用して、空いているところから攻撃しよう。		① (観察) ↓ 2 ↑ ② (観察)	1 ↑ ① (観察)	
なか②	○ ボールを持たない動きを意識して、ゲームで生かそう。	3 ↑ ② (観察) ↓ ③ ↑ ③ (観察)	② (観察) ↓ 2 ↑ ② (観察)		
まとめ	○ 今までの成果を発揮して、ゲームに取り組もう。			② (観察) ↓ ② (力)	

(2) 単元の評価規準（丸数字：第1学年の評価規準 ●：第2学年の評価規準）

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②お互い助け合い教え合おうとしている。 ③作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ● 健康・安全を確保している。 ● フェアなプレイを大切にしようとしている。	①自己のチームや相手のチームの特徴を踏まえた戦い方をしている。 ②仲間にに対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ● 作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための適切な関わり方を見付けている。 ● 継続して楽しむために自己に適した関わり方を見付けている。	①ボールを持たない動きを意識し、スペースを活用しようとしている。 ②空いているスペースを作り、パスやドリブルで突破しようとしている。 ● ゴール前への侵入から攻防を展開するための安定したボール操作と空間を生かした動きができる。	①技術の名称や戦術について具体例を挙げている。 ● 試合の行い方について学習した具体例を挙げている。 ②運動観察の方法について、理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ● サッカーに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。

6 本時の学習（4／7時間）

- (1) 目標 ボールとゴールの見えるポジショニングやゴール前の動き出しなどのボールを持たない動きを意識し、空いているスペースを活用してゲームをすることができる。 (運動の技能)
- (2) 準備・資料 ①学習カード ②ボール ③コーン ④マーカー ⑤ビブス ⑥作戦板（ホワイトボード）
⑦ボード用ペン

(3) 展開

*ゴシック 文字は言語活動、海西は、「海西スタイル」との関連

海西スタイル	学習内容・活動	支援・指導上の留意点と評価の観点		資料
		T 1	T 2	
I (10分)	1 ウォーミングアップを行う。 ・出欠、健康を確認する。 ・体操、補強運動、ランニングを行う。	・授業に参加する健康観察を行い、生徒の健康状態を把握する。	・見学者に対して指示を出し、準備を進めるよう促す。	① ①
	2 前時の活動の確認を行う。 3 本時の課題を知る。 空いているところ見つけ、そこから攻撃しよう。	・学習カードから前回の反省を確認して、前時の学習について振り返らせる。 ・学習カードに書いてあるグループや個人の改善すべき点をグループで確認して、短時間での作戦会議にする。	・ドリルゲームは、同じ形式のゲームをルールを変えて取り組ませるが、前時の様子に合わせ、ルールは柔軟に対応する。 ・ドリブルチームの生徒は、攻撃チームのボールを蹴らないことを徹底する。	
II (35分)	4 ドリルゲームを行う。 ・ボール出しゲーム。 ・縦15m×横20mのコート。 ・1人1個のボールを持ち、ドリブルでコート内を動く。 ・グループ戦で攻撃チームは、自分が持っているボールをキックして当てて守備チームのボールをコート外に出す。	・ドリブルチームを観察し、相手と空間を見ることを意識させ、上手な生徒を賞賛する。	・攻撃チームを観察し、相手を見てプレーすることを意識させ、上手な生徒を賞賛する。	② ③ ④ ⑤
	5 タスクゲーム①を行う。 ・パス回しゲーム。 ・縦30m×横20mのコートを8分割する。 ・グループ毎ボール1個で、それぞれのエリアに入る。 ・パスを回しながら、3本パスを回したら空いているエリアに移動する。 ・待機しているグループは作戦会議を行う。	・男子グループ、女子グループの順でタスクゲームを進めるよう伝える。 ・待機しているグループに、作戦ボードを活用して作戦会議をするように指示をする。	・タスクゲームを行っている生徒を中心観察し、支援する。	
III (5分)	6 タスクゲーム②を行う。 ・4ゴールゲーム。 ・縦30m×横20mのコート。 ・相手の2つのゴールどちらにシュートしても良い。 ・待機しているグループは作戦会議を行う。	④ 空いているスペースを活用して有効的に攻撃をすることができる。 (運動の技能、観察) ・待機しているグループに、作戦ボードを活用して作戦会議をするように指示をする。	・作戦会議を行っている生徒を中心観察し、支援する。	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
	7 本時のまとめと次時の確認を行う。 ・学習カードを書く。 ・次時の内容を確認する。 ボールを持っていない時の動きを意識して、ゲームに生かそう。	・タスクゲームを行っている生徒を中心観察し、空間を上手に使える生徒を賞賛する。 ・本時の学習について、学習カードに自分の言葉でまとめるよう支援する。	・作戦会議を行っている生徒を中心観察し、話し合いがスムーズに進むよう支援する。 ・生徒に発表させ、良い考えを共有する。 ・次時の学習内容を知らせるとともに、本時との関連を確認するよう伝える。	